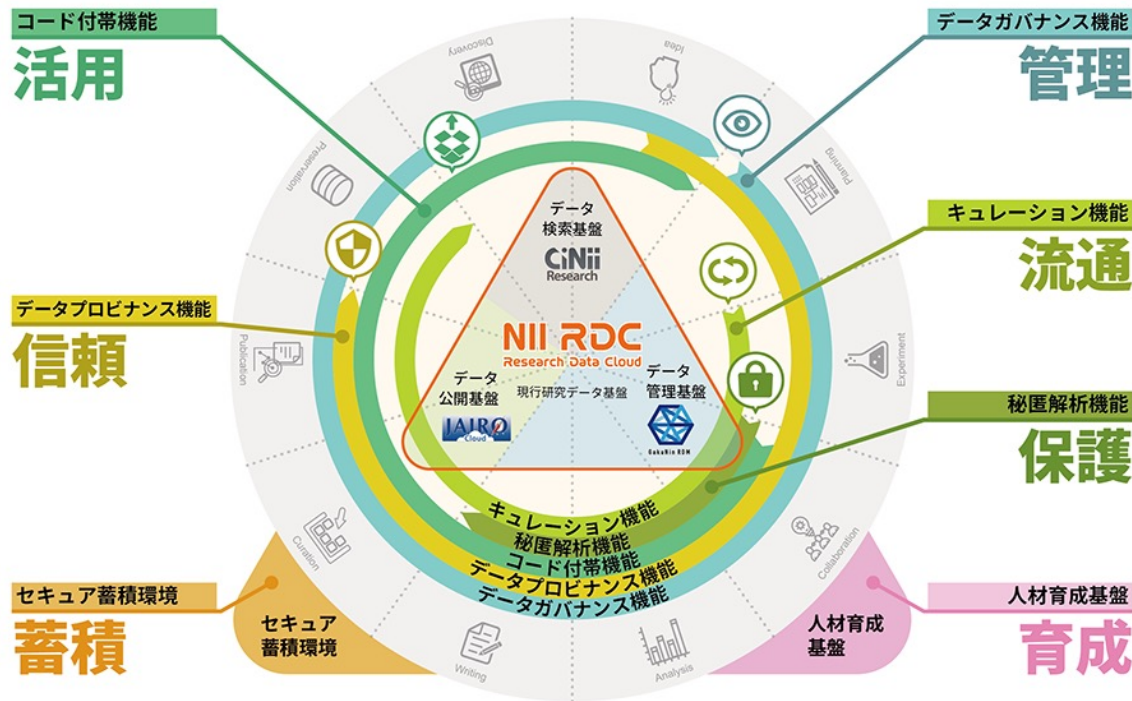


研究データ基盤を知る・利用する

—大阪大学での事例—

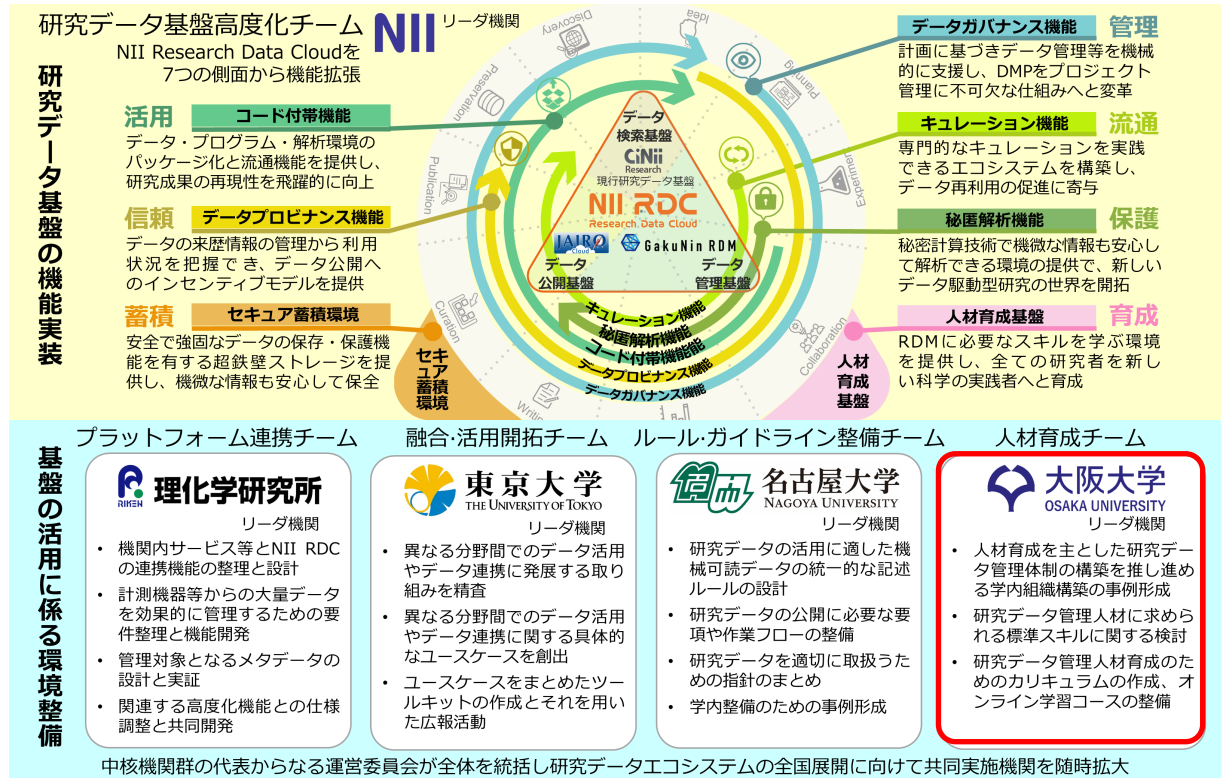
本コンテンツは「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」における大阪大学の成果である研究データ管理教材「オープンサイエンス時代における研究データマネジメントの基礎について学ぶ」を基に、大阪大学・九州大学・オープンアクセスリポジトリ推進協会が連携して改修したものです。

NII研究データ基盤(NII RDC)とは



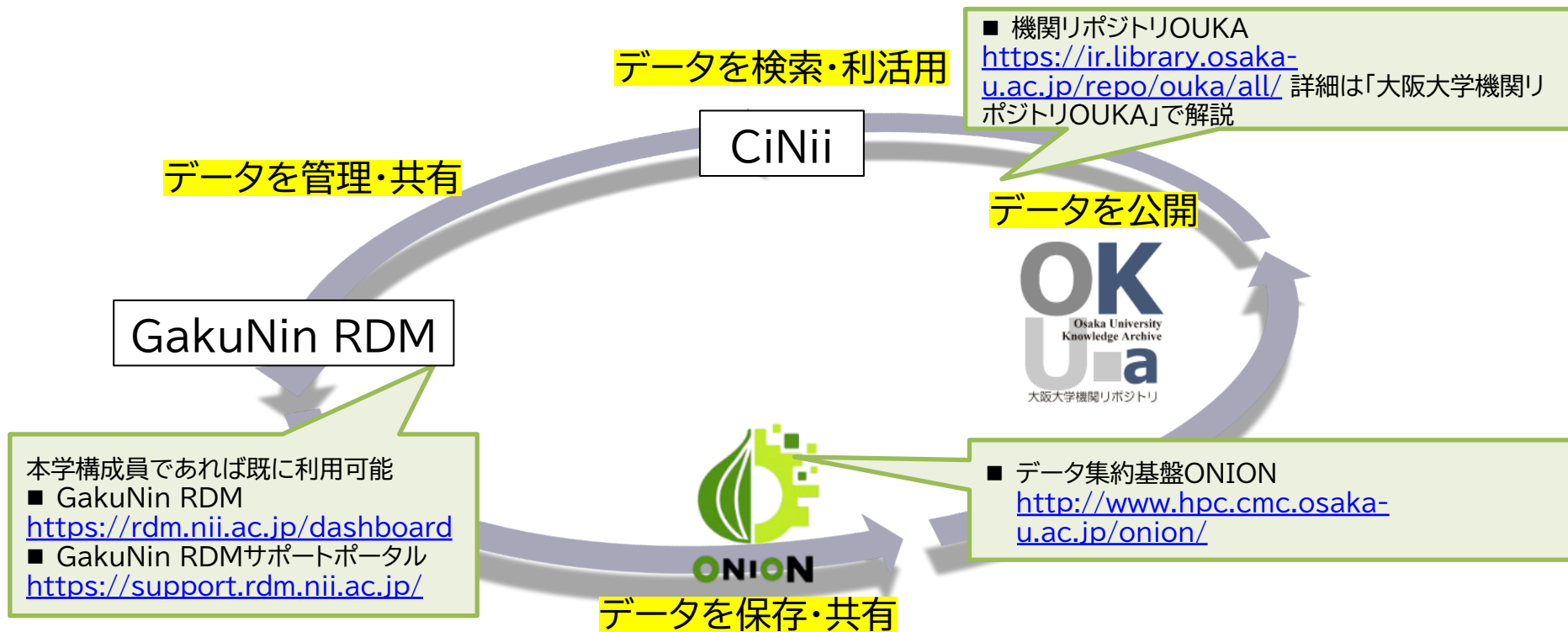
AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業

◆ 事業概要・大阪大学の取り組み



大阪大学の研究データ基盤連携

- ◆ 研究データサイクルの一巡化を実現する各基盤連携の例
(GakuNin RDM・ONION・OUKAの連携)



GakuNin RDM(データ管理基盤)とは

研究者に求められる研究データ管理に必要なデジタル資源を提供し、研究データ管理を支援する基盤

◆GakuNin RDMの特徴

- クローズドなファイルシステムを提供、
組織を越えた共同研究のデータ共有を可能に。
- バージョン管理、アクセスコントロール、
メタデータ管理をサポート。
- 研究証跡の記録機能(タイムスタンプ)を提供し、研究公正を強化。
- クラウドストレージやデータ解析ツールとの連携が可能。
- 学術認証フェデレーションに対応し、
セキュアなアクセスを提供。
- 複数の研究プロジェクトを一元管理。

など

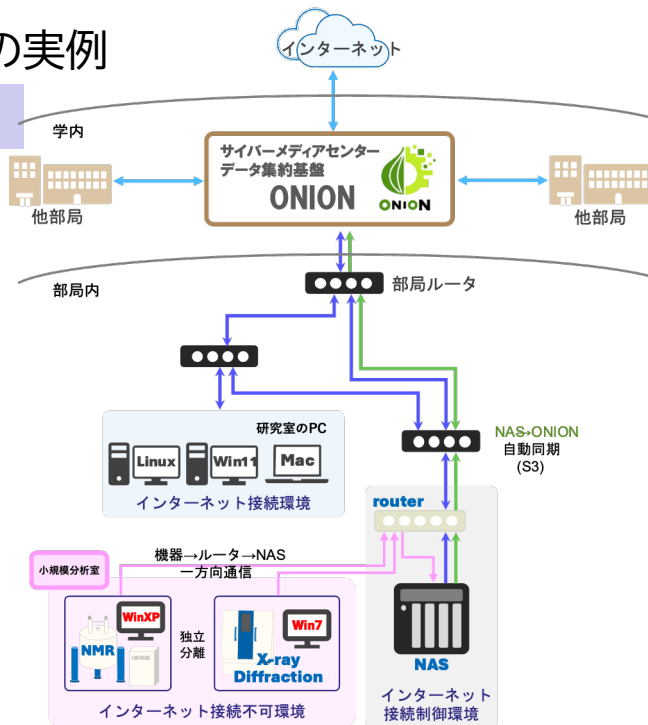
大阪大学の事例：分野別の基盤・連携

◆ 研究データ生成環境構築の実例

測定データ集約配信システム

◆ GakuNin RDMの活用事例集

<https://support.rdm.nii.ac.jp/casestudy/>



測定データ集約配信システム

Cf., 古谷浩志(2023, 5, 30)「コアファシリリティを通して研究活動に役立つデータエコシステムを作る」NIIオープンフォーラム2023, AXIES-RDM部会との合同セッション 大学における研究データマネジメントのための情報基盤. <https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/1acad47fe1977dc7fb1000f4609a22e5344f9ebd.pdf>

国立情報学研究所(n.d.)「GakuNinRDMサポートポータル GakuNin RDMの活用事例集」. <https://support.rdm.nii.ac.jp/about/>

大阪大学の事例：データ公開促進

◆ 研究データの公開申請モジュール(プロトタイプ)

研究データ公開時の研究者の負担軽減(図書館とのコミュニケーションが省力化される)

The screenshot shows a web-based file management interface. On the left, a table lists folders with columns for name, status, size, and update time. The folder 'Testset7' is selected and highlighted. On the right, a detailed view for 'Testset7' (466 KB, updated 1 day ago) is shown. It includes a description: '大阪大学の機関リポジトリ"OUKA"での公開を申請します。' (Apply for publication in Osaka University's institutional repository "OUKA"). Below the description are input fields for '申請者名' (Applicant Name) with the value 'Test User', 'メールアドレス' (Email Address) with 'testuser@xxxx-u.ac.jp', and a '備考' (Remarks) field. A '公開申請' (Apply for Publication) button is at the bottom.

名前	共有中	サイズ	更新日時
qnonion01	共有中	43 KB	7日前
Testset1	共有中	1003 KB	2日前
Testset2	共有中	9.1 MB	2日前
Testset3		136 KB	2日前
Testset4	共有中	1003 KB	1日前
Testset5	共有中	512.4 MB	2日前
Testset6	共有中	107.3 MB	1日前
Testset7		466 KB	1日前

8個のフォルダ 631.5 MB

The screenshot shows an email interface. The email is from 'ONION file' and is titled 'ONIONからの公開申請 (2023/07/11 11:19)'. The content of the email is a form for applying for public release of research data. The form includes the following information:

- 申請者名: Test User
- 申請者メールアドレス: testuser@xxxx-u.ac.jp
- 共有リンク: https://ONION-LINK URL
- 共有アイテム名: Testset7
- パスワード: password
- 備考:

The form also includes a note: '上記の研究データの公開を申請します。' (Apply for publication of the above research data.) and buttons for '返信' (Reply), '全員に返信' (Reply All), and '転送' (Forward).

大阪大学学術情報庫 OUKA

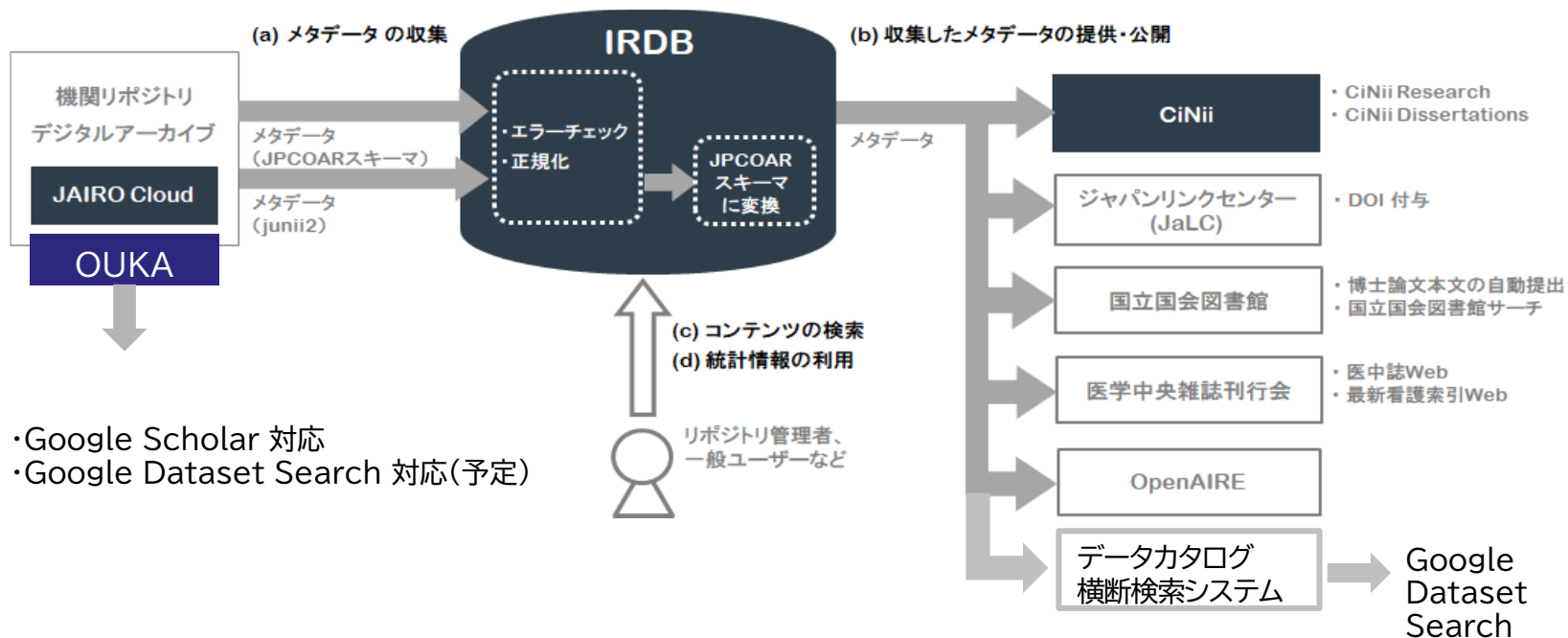
◆ 大阪大学の機関リポジトリ

- 本学の研究教育成果発信のためのプラットフォーム（2007年2月～）
- 本学の教職員（元構成員を含む）は誰でも研究成果を登録可能
- 登録した研究成果は永久的に保存・公開
- 費用負担の必要なし



メタデータの流通

メタデータはNII(国立情報学研究所)のIRDBというデータベースによってハーベストされ各データベース等に流通する。



大阪大学の研究データ基盤支援体制

大阪大学研究データポリシー解説の大学の責務より

- ◆ 適切な管理プラットフォームの提

研究推進部、情報推進部、附属図書館

- ◆ 研究データのメタデータ作成支援(研究データ利活用を促進)

附属図書館

- ◆ 研究データ管理の啓発、研究データ管理計画作成の支援など

研究推進部、附属図書館

- ◆ 法および倫理的な支援(新たな研究分野の成果創出)

研究推進部、共創推進部、共創機構、経営企画オフィス

- ◆ 共同研究や産学連携等に必要な支援(研究データ利活用の促進)

共創推進部、共創機構

- ◆ 時代に合わせたポリシーの見直し

研究推進部

オープンサイエンス推進室を中心に、左記の担当部局が連携しながら導入・利用支援を行います。

GakuNin
RDM



参照資料

- 大阪大学(2023, 3, 24)「大阪大学研究データポリシー 解説」. <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/hclg46>
- 大阪大学サイバーメティアセンター(n.d.)「ONION」. <http://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/onion/>
- 国立情報学研究所(n.d.)「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業 事業の詳細」. <https://www.nii.ac.jp/creded/project.html>
- 国立情報学研究所(n.d.)「GakuNin RDMサポートポータル GakuNin RDMの機能」. <https://support.rdm.nii.ac.jp/about/>
- 国立情報学研究所(n.d.)「GakuNinRDMサポートポータル GakuNin RDMの活用事例集」. <https://support.rdm.nii.ac.jp/about/>
- 国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター(n.d.)「NII研究データ基盤(NII Research Data Cloud: NII RDC)の概要」. <https://rcos.nii.ac.jp/service/>
- 古谷浩志(2023, 5, 30)「コアファシリティを通して研究活動に役立つデータエコシステムを作る」NIIオープンフォーラム2023, AXIES-RDM部会との合同セッション 大学における研究データマネジメントのための情報基盤. <https://www.nii.ac.jp/openforum/upload/1acad47fe1977dc7fb1000f4609a22e5344f9ebd.pdf>